

『ストリートチルドレン芸術祭』

【目的】

世界に三千万から一億人いると言われる、「ストリートチルドレン」と呼ばれる子ども達。彼らひとりひとりの可能性や素顔、存在、メッセージを、彼らの作った絵や詩という「アート」を通し、人々に伝えてゆく。

【概要】

<オープニング>

日時：2005年3月25日（金）～27日（日） 場所：瀬戸会場内対話劇場

概要： ジャン・ピエール氏講演 詩の朗読
作品発表&募集要綱発表 ストリートチルドレン体験すごろく

<期間中>

作品募集 概要：世界からストリートチルドレンによる絵と詩を募集する

日時：2005年3月25日（金）～7月31日（日）

作品送付・保管場所：熱海市立小嵐中学校（生徒数192名、WEB作成協力）

WEBの作成・更新

概要：ストリートチルドレンの全作品をWEB上で公開（協力：小嵐中学校）

作品の常時展示

日時：3月25日（金）～9月25日（日）

概要：・作品を会期中展示する 展示場所：市民パビリオン2階対話ギャラリー入口横のオープンスペース
・来場者から、ストリートチルドレンへのメッセージを送れるポスト（またはノート）を設置する

ストリートチルドレン2006年カレンダー作成

日時：愛・地球博開催中に発表、以後販売

概要：各界の12名選によるチャリティーカレンダー（制作：国際NGO「テラルネッサンス」）

カレンダーの発表

日時：万博開催中 場所：瀬戸会場内対話劇場（予定）

概要：ストリートチルドレン芸術祭作品発表&選考者を招いたトークイベント

<万博終了後>

チャリティーカレンダーの発売 HPの継続的管理

ストリートチルドレン芸術祭作品展示会

『ストリートチルドレン芸術祭 参考資料』

Jayson 君の書いた直筆の手紙

KAYA TO ANA
IGINUHIT KO KASE
ITO ANA LUGAR NA
KUNGI SAAN PAYSARA
AT LIKTAS SA
"ANBHANGI
PANGAMB
JAYSON



この絵はフィリピンのストリートチルドレンを一時的に保護する NGO 団体「カンルンガン・サ・エルマ」で生活を送っている 15 歳の男の子が描いたものです。この絵のテーマは「将来自分に住みたい家」。多くの子どもたちが、田園風景に広がる小さな家を描く中、この男の子だけがお母さんのお腹の中の絵を描きました。

現地のスタッフがなぜこの絵を書いたのかと尋ねると、男の子はこう答えました。

「だって自分が 15 年間生きてきた中でここが 1 番安全な場所だから...」

作品提供：NGO 世界平和支援協会



作品：ルワンダのストリートチルドレンがバナナの木の皮を使って作成しました。

作品提供：ルワンダの教育を考える会